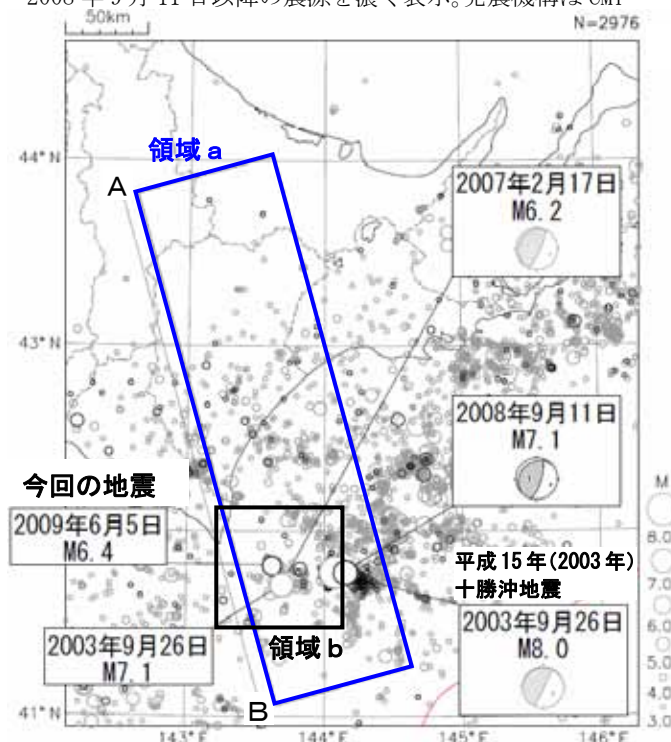


6月5日 十勝沖の地震

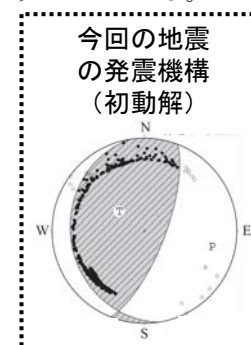
震央分布図 (2001 年 10 月以降、深さ 150km 以浅、 $M \geq 3.0$)
2008 年 9 月 11 日以降の震源を濃く表示。発震機構は CMT



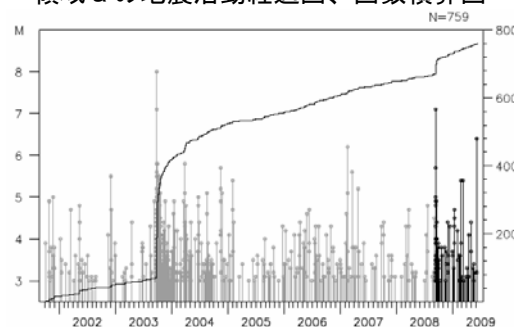
2009 年 6 月 5 日 12 時 30 分に、十勝沖の深さ 31km で M6.4 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震の発震機構は、西北西-東南東方向に圧力軸をもつ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

今回の地震は、「平成 15 年 (2003 年) 十勝沖地震」の余震域内で発生したものである。付近では 2003 年 9 月 26 日に同地震の最大余震 (M7.1、最大震度 6 弱) が発生したほか、2007 年 2 月 17 日の地震 (M6.2、最大震度 4) が発生している。

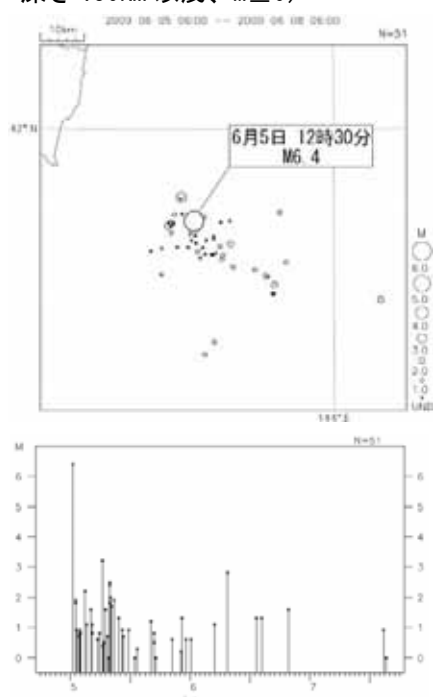
十勝沖では過去に海溝型の巨大地震が繰り返し発生している。1952 年の十勝沖地震 (M8.2、最大震度 5) では死者・行方不明者 33 名などの被害が生じた (「最新版 日本被害地震総覧」による) ほか、平成 15 年 (2003 年) 十勝沖地震でも死者・行方不明者 2 名などの被害が生じた (総務省消防庁による)。



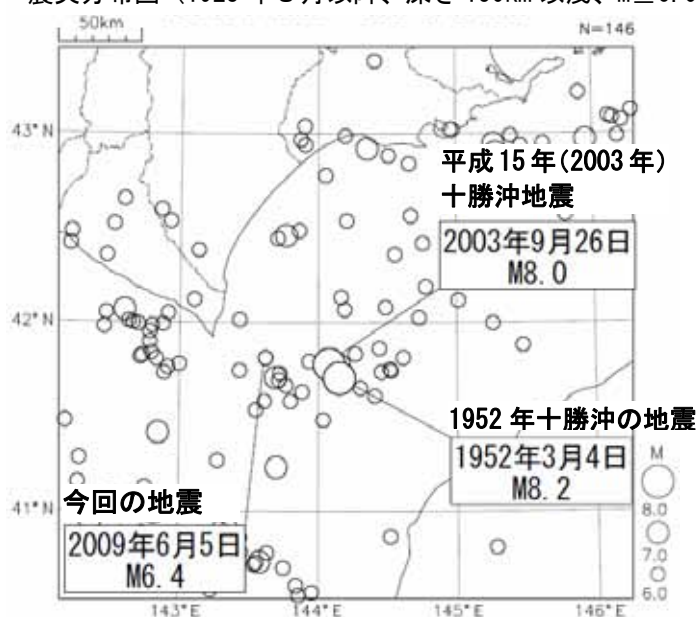
領域 a の地震活動経過図、回数積算図



領域 b の震央分布図、地震活動経過図
(2009 年 6 月 5 日 6 時 ~ 6 月 8 日 6 時
深さ 150km 以浅、 $M \geq 0$)

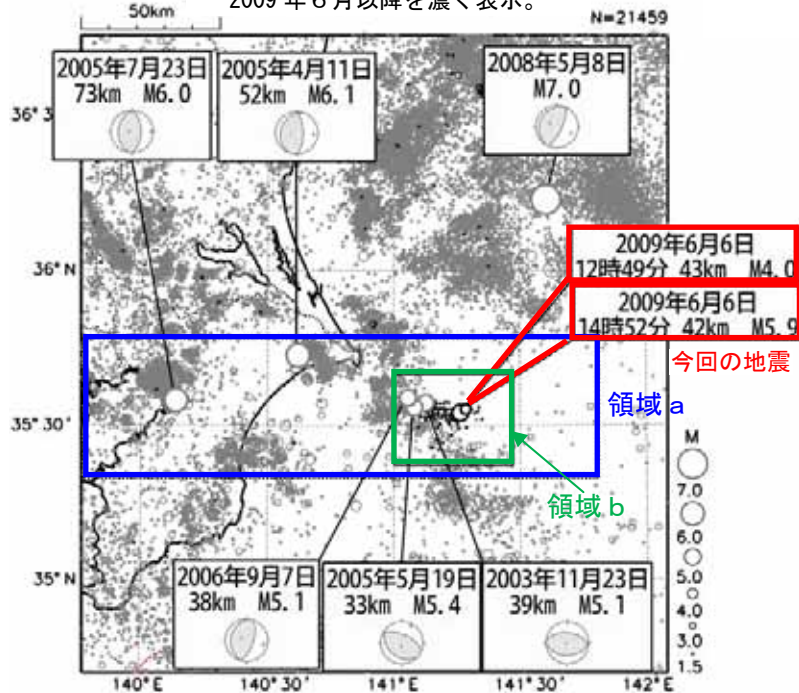


震央分布図 (1923 年 8 月以降、深さ 150km 以浅、 $M \geq 6.0$)

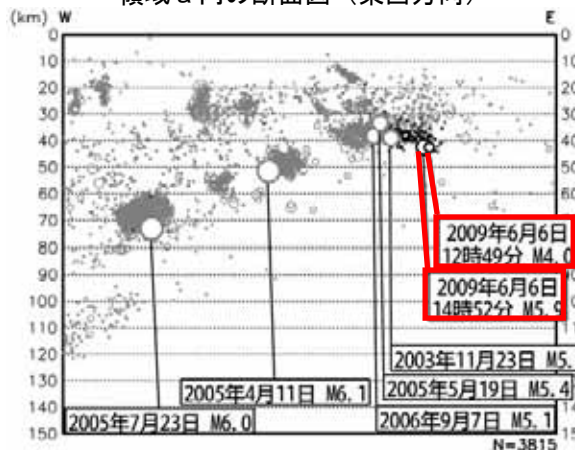


6月6日 千葉県東方沖の地震

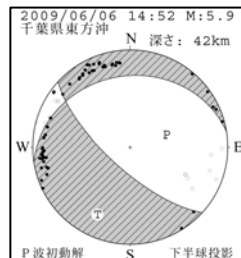
震央分布図 (2002年10月1日～2009年6月8日※、
深さ150km以浅、 $M \geq 1.5$)
2009年6月以降を濃く表示。



領域a内の断面図 (東西方向)



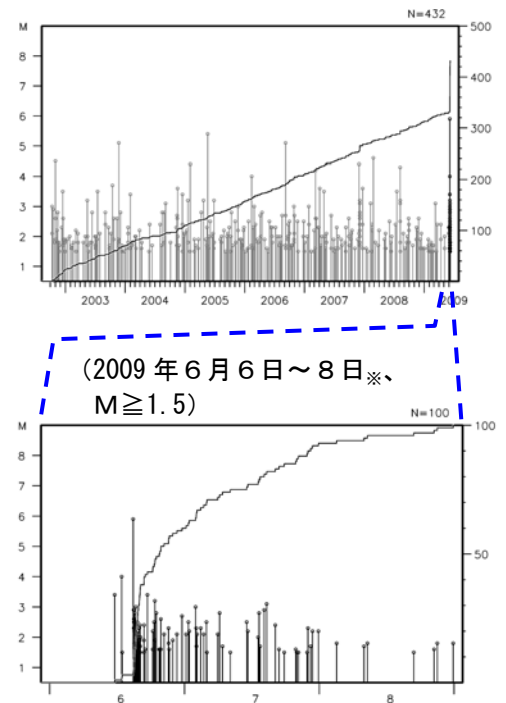
6月6日 M5.9の地震
の初動発震機構解



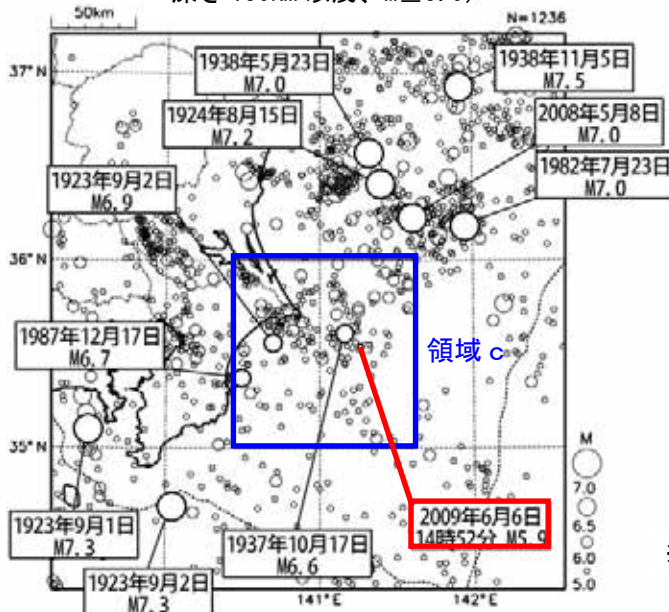
2009年6月6日14時52分に千葉県東方沖でM5.9の地震 (最大震度3) が発生した。発震機構は、北北東-南南西方向に張力軸をもつ型である。この地震の約4時間前から3回の前震が観測されている (最大は12時49分のM4.0、震度1以上の観測なし)。余震活動は順調に減衰している。

今回の地震は、銚子南東沖合の地震活動が活発な領域の東端付近 (領域b) に位置しており、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域b内の地震活動経過図、回数積算図

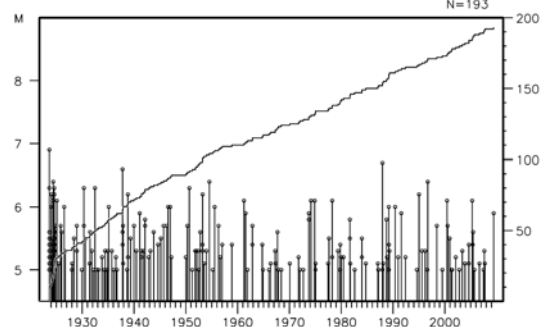


震央分布図 (1923年8月1日～2009年6月8日※、
深さ150km以浅、 $M \geq 5.0$)



1923年8月以降、今回の地震の震央付近 (領域c) では、M6.0以上の地震が時々発生しているが、M7.0を超える地震は発生していない。

領域c内の地震活動経過図、回数積算図



※6月8日の震源は精査前であり、今後修正される可能性がある。

気象庁作成